

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	セメント注入工法による汚染水防止策
御提案者	江口 工
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>山側にセメント注入工法を採用し、「止水帯壁」を造成する。</p> <p><input type="checkbox"/>セメント注入工法を採用すべき理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的に多用されている機械、機器を利用できるため、すぐに対応可能 ・短工期、低コストで施工可能 ・福島および東北に多数の経験者がいる。 ・難しい工事ではないため、地元の建設/地質調査/上下水道工事業者をはじめ、漁業/農業従事者などの協力を得やすく、雇用創出に有効。 ・小型機器で十分対応できるので、運搬などについても有利。 ・地盤に大打撃を与えないので地層を破壊しない。 ・ビット冷却やスラッジ排出のための水を用いない「エアードリリング」とすることにより、地下水の流入量を増やさずに施工することも可能。 <p><input type="checkbox"/>遮水壁の形状</p> <p>山側に面的な注入エリアを設け、遮水壁を構築する。構築形状については広域地下水解析により検討する。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>施工案</p> </div> </div>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <ul style="list-style-type: none"> - セメントグラウトは実績多数あり。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 <ul style="list-style-type: none"> - 広域地下水解析などにより、効果的な遮水壁の形状を検討する必要がある。 - 遮水壁施工中の地下水の挙動についても検討する必要がある。 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 	